

2025.02.17

マーケットメモ(金・原油)

—金・原油(WTI)の高騰は暫く続くであろう。

<金・原油>

アメリカでのトランプ大統領の就任により法や秩序重視ではなく力による押し付け外交が始まっている。

長期的にウクライナの停戦交渉立場を向上させ民主主義の普及を目指すヨーロッパと異なりトランプ外交は今、一時の実利外交による停戦を手動する。

プーチンの暴挙を看過すれば今後権威主義国が同様な侵攻を模倣する可能性が生まれる。

また中東においても同盟国のイスラエルを守るためにガザ所有を宣言しアラブの反感を招き中東情勢を再び混乱させかねない。

ヨーロッパとアメリカのウクライナ紛争に対するスタンスの違いは紛争の長期化を招く恐れがある。

また中東情勢の不安定化も原油価格の上昇を招く。

二方面戦争が続けば世界の注目と資源は二分化されてチェック機能が希薄化することで停戦協定の拘束力もそれだけ脆弱化する。

またアメリカのハードパワー重視の外交スタンスは各国中銀のドル離れを促進する。

世界の約40%は権威主義体制に分類され外貨準備のドル離れは代替資産として金の保有割合を増やしていくことであろう。

アメリカ経済は今のところまだ堅調であることでリスク資産にもマネーは流れているが、同時に不透明感漂う世界で安全資産の金も最高値をつける状況である。

需給バランスというより安全保障上のリスクにより原油の高騰は暫く続き、金価格の上昇も続くであろう。